

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	敷地計画論演習						授業形態		演習	
科目コード	710066	単位数	4単位	配当学年	2	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	関西 剛康								ICT活 用	○
授業概要	授業では、『全国造園デザインコンクール』（主催：（一社）日本造園建設業協会）の課題である「商業施設」などのランドスケープを対象に、伝統技法と生成AIを融合させ、気候変動から都市を守り、人々に幸福をもたらす「次世代の敷地戦略」をデザインする。調査分析・計画立案・作図・発表等に関する専門技術を学び、ランドスケープアーキテクトとして必要とされる高度で多様な専門的技術の修得を目指す（演習課題は、各自で造園作品を制作）。また、学習効果を上げるために、進め方を段階ごとに理解を深めるように構成しており、専門的設計技術だけではなく、プレゼンテーションとコミュニケーション能力の向上についても指導を行う。 教員は、技術士（総合技術監理部門、建設部門〔都市及び地方計画〕）や登録ランドスケープアーキテクト（RLA）等の有資格者であり、実務として造園コンサルタントの設計事務所で20年にわたって国内外の100件を超える都市公園や庭園プロジェクトに参画したキャリアを有する。また、教員は文化庁文化審議会専門委員、宮崎県美しい宮崎づくり推進有識者会議長、宮崎県景観まちづくりアドバイザー、宮崎市花のまちづくりコンクール審査委員長、宮崎グリーンインフラ研究会長などの職務経験も豊富である。授業では、実務経験で得られたスキルを、DX技術で加速させる実践的な指導を行う。									
関連する科目	本授業の履修前には基礎製図演習Ⅰ、基礎製図演習Ⅱ、庭園学演習、自然緑地計画論演習、コンピュータ・CAD演習を、本授業と同時期には敷地計画論を、履修後には都市緑地論演習を受講することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	1. 授業の準備 1) テキスト代わりにPDF資料（約40頁）をユニバーサルパスポートの授業ツール（クラスプロファイル）にて配布。 2) 作品作成にあたり、各自がノートパソコン等を持参。 3) 作品作成にあたり、CAD、画像加工ソフト等を用いて行うことを基本とする。 4) また、製図道具一式、色鉛筆またはマーカー類、USB記録媒体等も必要がある場合は各自準備。 2. 授業の方法と進め方 1) 授業では、ランドスケープ作品の作成技術やその方法について指導する。 2) 学生各自の演習課題の進捗に応じて、授業中に個人指導を行う。 3) 演習課題に対して、学生各自がランドスケープ作品の作成を行う。 4) 各自の課題について、中間と最終の2回プレゼンテーションを行い発表する。									
授業計画 【第1回】	授業ガイダンス （演習課題の概要説明とその社会背景について学ぶ）									
授業計画 【第2回】	学生ワークショップ （演習課題について、ワークショップ形式による意見交換を行う）									
授業計画 【第3回】	先行事例研究の調査 （計画を行うに際しての知見知識を深めるために、先行事例の資料の作成を行う）									
授業計画 【第4回】	先行事例研究の分析 （計画を行うに際しての知見知識を深めるために、先行事例の資料の作成を行う）									
授業計画 【第5回】	計画地及び周辺地域の調査 （計画地周辺の都市形態や施設内容を分析して敷地分析を行い、資料の作成を行う）									
授業計画 【第6回】	計画地及び周辺地域の分析 （計画地周辺の都市形態や施設内容を分析して敷地分析を行い、資料の作成を行う）									
授業計画 【第7回】	調査分析資料の作成-1 （計画地周辺の都市形態や施設内容を分析して敷地分析を行い、資料の作成を行う）									
授業計画 【第8回】	調査分析資料の作成-2 （計画地周辺の都市形態や施設内容を分析して敷地分析を行い、資料の作成を行う）									
授業計画 【第9回】	基本コンセプトの立案-1 （計画案の基本コンセプトの作成を行い、基本計画案の構想を行う）									

授業計画 【第10回】	基本コンセプトの立案-2 (計画案の基本コンセプトの作成を行い、基本計画案の構想を行う)
授業計画 【第11回】	基本計画案の検討-1 (計画案の基本コンセプトの作成を行い、基本計画案の構想を行う)
授業計画 【第12回】	基本計画案の検討-2 (計画案の基本コンセプトの作成を行い、基本計画案の構想を行う)
授業計画 【第13回】	中間プレゼンテーションの実施 (作成した資料や計画案の中間発表を行い、進捗状況を確認する)
授業計画 【第14回】	中間プレゼンテーションに関する指導と講評 (作成した資料や計画案の中間発表に対する講評を行い、修正点を指導する)
授業計画 【第15回】	基本計画平面図の図化-1 (基本計画平面図を完成させる)
授業計画 【第16回】	基本計画平面図の図化-2 (基本計画平面図を完成させる)
授業計画 【第17回】	基本計画平面図の着彩-1 (基本計画平面図を完成させる)
授業計画 【第18回】	基本計画平面図の着彩-2 (基本計画平面図を完成させる)
授業計画 【第19回】	鳥瞰図（パース）の図化-1 (鳥瞰図を完成させる)
授業計画 【第20回】	鳥瞰図（パース）の図化-2 (鳥瞰図を完成させる)
授業計画 【第21回】	鳥瞰図（パース）の着彩-1 (鳥瞰図を完成させる)
授業計画 【第22回】	鳥瞰図（パース）の着彩-2 (鳥瞰図を完成させる)
授業計画 【第23回】	ポートフォリオ（作品集）の作成-1 (作成した図面や資料をポートフォリオとして完成させる)
授業計画 【第24回】	ポートフォリオ（作品集）の作成-2 (作成した図面や資料をポートフォリオとして完成させる)
授業計画 【第25回】	ポートフォリオ（作品集）の作成-3 (作成した図面や資料をポートフォリオとして完成させる)
授業計画 【第26回】	ポートフォリオ（作品集）の作成-4 (作成した図面や資料をポートフォリオとして完成させる)

授業計画 【第27回】	完成作品のプレゼンテーションの実施 (完成した計画案の最終発表を行う)
授業計画 【第28回】	完成作品のプレゼンテーションに関する指導と講評 (完成した計画案に対して講評を行い、修正点を指導する)
授業計画 【第29回】	ポートフォリオの最終修正 (前回の最終発表での指摘事項の修正を行い、提出する)
授業計画 【第30回】	ポートフォリオの最終修正と提出 (前回の最終発表での指摘事項の修正を行い、提出する)
授業の到達目標	1. 商業施設におけるランドスケープ・プラン&デザインを通じて、具体的な調査・解析からコンセプト、計画、デザイン、作図手法ならびにプレゼンテーションの基礎的技術の修得を目的とする。 2. 自ら作成した課題の作品発表を通じて、中間・最終の2回のプレゼンテーションを行うこと、客観性と専門性の高いプレゼンテーションとコミュニケーション能力を高めることを目的とする。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	1. 授業で配布するテキスト資料等を授業前に精読すること。 2. 予習は1時間程度行うこと。
授業時間外学習【復習】	1. 授業後にさらに理解を深めるためにテキスト資料等を再度精読すること。 2. 復習は1時間程度行うこと。
課題に対する フィードバック	1. 最終の口頭発表を行うため、その際に各課題に対するフィードバック（講評）を行う。 2. 評価後、返却期間をもうけて返却ならびに解説する。
評価方法・基準	1. 演習課題による提出物を評価（100点） 2. 授業への取り組みも評価（授業態度によってはマイナス評価も行う）
テキスト	1. 授業では、製図道具一式、色鉛筆またはマーカー類、USB記録媒体等が必要である。 2. ノートパソコンを持参しての作業をすること（機器がない場合は要相談とする）。
参考書	1. 八木 健一（2022）：はじめてのランドスケープデザイン：学芸出版，pp176 2. 丸田 頼一・島田 正文（2012）：ランドスケープ計画・設計論：技法堂出版，pp324 3. 武田史朗・山崎 亮・長濱伸貴（2010）：ランドスケープデザインの歴史：学芸出版社，pp208
備考	本演習では、計画案の策定やパース作成において生成AI（ChatGPT、Gemini等）やDXツールを「デザインの相棒」として活用します。毎時間、インターネット接続が可能なノートパソコンを必ず持参してください。